

「旭区徘徊SOSネットワークシステム」 発見協力機関に旭区内の郵便局 20 か所と ゆうちょ銀行が加わります



認知症に関する取組のトレードマーク「ほっちゃん」

9月21日は
世界アルツハイマーデー

1 概要

認知症の方を支える仕組みの「旭区徘徊SOSネットワークシステム」の発見協力機関に、旭区内の郵便局20か所とゆうちょ銀行が加わります。徘徊している認知症の方の情報を共有し、発見に協力していただくことで認知症支援のさらなる充実を図ります。

(1) 「旭区徘徊SOSネットワークシステム」とは

徘徊の可能性のある認知症の方に事前登録をおすすめし、登録していただいた方の緊急連絡先やご本人の特徴、写真等の情報を、旭警察署、地域ケアプラザ、旭区役所で保管します。

認知症の方が徘徊して行方不明になった際には、ご家族等からの連絡を受けて、地域ケアプラザや旭区役所が発見協力機関に情報提供のファックスを送り、行方不明になった方をできるだけ早く、ご家族のもとへ安全にお返しするためのシステムです。平成11年度から実施しています。

(2) 発見協力機関について

これまでの発見協力機関は鉄道、バス、タクシーなどの事業所14か所でしたが、10月1日から旭区内の郵便局20か所とゆうちょ銀行が加わり35か所になります。

(3) 旭区内の郵便局、ゆうちょ銀行における発見協力について

徘徊されて行方不明になった方の情報は旭区内全郵便局とゆうちょ銀行の職員に提供され、発見した場合にはご家族や警察に連絡します。郵便局は窓口だけでなく、配達や保険業務等に従事している職員も多いため、行方不明になった方の発見に大きな力になると考えられます。

2 登録式

(1) 日時・場所

日時：平成30年9月26日（水）9時30分～10時

場所：旭区役所 区長室

(2) 出席者

旭区長 下田 康晴

横浜今宿南郵便局 局長 佐藤 弘行

横浜旭郵便局 局長 伊藤 茂

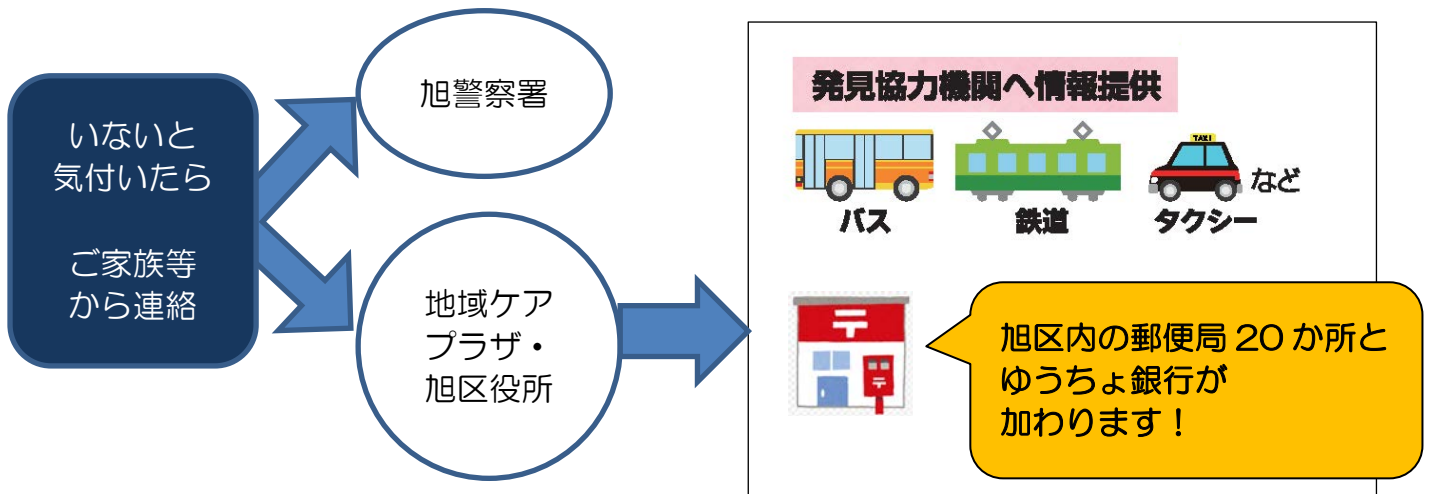
ゆうちょ銀行横浜旭店 店長 今井 伸一

(3) 取材について

取材をご希望の場合は、9月25日（火）17時までにお問合せ先にご連絡ください。

《参考》

1 旭区徘徊SOSネットワークシステムにおける発見協力依頼の流れ



※あさひ安全・安心かわら版（メールアドレスを登録するだけで旭区内の犯罪や感染症等の情報を受信できるシステム）の登録者にも徘徊された方の特徴等を配信しています。

2 旭区徘徊SOSネットワークシステムに係わるデータ

(1) 発見協力機関（10月1日から）

35 事業所

（内訳）郵便局 20、ゆうちょ銀行 1

鉄道会社 1（4 駅）、バス会社 4、タクシー会社 7

旭区社会福祉協議会、旭土木事務所

(2) 登録者数

29 年度末の登録者数 229 人

（内訳）28 年度からの継続 155 人 29 年度の新規登録 74 人

(3) 発見協力依頼の状況

29 年度の依頼数 25 人

【結果】

- ・発見された日 当日発見 21 人 翌日発見 4 人
- ・発見場所 旭区内 17 人 旭区外 8 人

お問合せ先		
旭区高齢・障害支援課長	杉本 光明	Tel 045 - 954 - 6198